

大項目		中項目		小項目		回答
1	基本仕様	1	共通	1	操作者のユーザーID（職員コード）とパスワードの入力で利用可能なこと また、パスワード変更が可能なこと	
1		1		2	パスワードは暗号化を可能とし、マスターメンテナンス画面やデータベース直接参照でも読み取りできない状態にすることが可能なこと	
1		1		3	操作のログが保存されていること（起点端末、操作時刻、ユーザーID、操作内容など）	
1		1		4	制限すべき機能に、権限、職種などの区別を設定できること	
1		1		5	データベースは、継続的にバックアップを取り、調査などの必要性に応じて本番以外に復元できること	
2	患者情報	1	患者登録	1	新規患者の登録（基本情報、透析条件、原疾患、生年月日、透析開始日、患者グループ（コース）、その他）が行なえること	
2		1		2	患者の障害者コメントを登録できること	
2		1		3	透析を行わなくなった患者も必要に応じて、非在院患者として管理できること	
2		1		4	誤って患者情報を変更してしまわないように、編集ロックなどの制御ができていること	
2		1		5	サマリーなどに反映するよう、患者の病歴（既往症など）も登録できること	
2		1		6	患者IDは、カルテ（カルテNO）と共通であること	
2		1		7	処方オーダーを行う時、保険情報を登録できること	
2		1		8	カルテから患者情報を取り込むことができること	
2		2	患者検索	1	患者ID、または患者名の一部から、登録済みの患者情報を検索できること	
2		2		2	非在院患者も検索し、再度、在院患者として使用できること	
2		2		3	患者グループによる絞り込み検索できること	
2		2		4	使用薬剤やダイアライザなどから患者を検索できること	
2		3	透析条件	1	薬剤、資材、治療方法、原疾患などの項目はマスタ登録されている一覧から選択可能であること	
2		3		2	DW、ダイアライザ、注射等の変更について、履歴が確認できること	
2		3		3	透析条件の登録は、必要に応じて、医師以外は登録できないよう制限できること	
2		3		4	患者ごとの透析パターンを登録できること（曜日、時間帯、ベッドNO、治療方法など）	
2		3		5	透析条件として登録された内容は、透析記録データに転記され、都度の透析時には手入力が必要無いこと	
2		3		6	指示の変更があった場合、開始日、終了日などにより、適用タイミングを設定できること	
2		3		7	曜日ごとの透析条件が登録できること	
2		3		8	注射、ESA製剤等の使用期間、投与間隔などを登録でき、正しく透析記録に適用されること	
2		4	定期薬	1	投薬指示として定期薬の登録が可能なこと	
2		4		2	投薬指示を元に、定期処方を作成できること	
2		4		3	開始日、終了日が登録でき、将来開始の薬剤、将来中止の薬剤を制御できること	
2		4		4	患者グループごと一括で、定期処方を作成できること	
2		4		5	順が登録でき、画面表示、処方箋印刷時に制御できること	
2		4		6	後発医薬品不可の登録ができ、処方箋に反映されること	
2		5	シャント管理	1	シャント部位などを画像として管理でき、編集できること	
2		5		2	変更した場合、履歴の管理ができること	
3	透析スケジュール	1	ベッドスケジュール	1	2,3,4 の透析パターンを元に透析スケジュールを作成できること	
3		1		2	透析日毎のベッド画面では一目で空きベッドがわかること	
3		1		3	透析日毎のベッド登録では、誤って重複登録できないように制御されていること	
3		1		4	指定日のベッド配置が表示できること	
3		1		5	午前、午後、夜間など、クールごとに区別して患者氏名を表示できること	
3		1		6	指定日（自）～指定日（至）までのベッドスケジュールを一括作成、削除できること	

大項目	中項目	小項目	回答
3	1	7 容易にベッド移動が行えること	
3	1	8 ベッド移動しても、透析条件は、移動前の日の条件を正しく引き継いでいること	
3	2 資材、薬剤準備	1 指定日、時間帯に必要な患者ごとの資材の表（氏名、ベッドNO、ダイアライザ、抗凝固剤、穿刺針など）と薬剤の表（注射薬・内服薬）が確認できること	
3	2	2 指定日、時間帯に必要な患者ごとの資材、薬剤のトータルの使用数が確認できること	
3	2	3 資材、薬剤の週間の使用数が確認できること	
3	3 カルテ送信	1 予約情報をカルテに送信できること	
4 透析実施	1 透析記録	1 患者ごとの透析条件から、透析日に必要な条件を転記して、透析記録データが作成されること	
4	1	2 注射、薬剤、処置などは、透析パターンに基づき、正確に転記されること	
4	1	3 透析中の経過記録を登録できること。なお、経過記録は定型文、テンプレートなどを活用し入力支援の機能があること	
4	1	4 注射、処置の施行のサインを登録できること	
4	1	5 装置から取得したモニター値の時系列の欄に、確認サインを登録できること	
4	1	6 バイタルを手入力できること。装置から受取り登録することもできること	
4	1	7 過去の記録を容易に参照できること	
4	1	8 透析記録用紙の印刷ができること	
4	2 体重測定	1 透析日、時間帯、フロアごとの透析予定者が一覧でき、来院時にその中から選択できること	
4	2	2 患者選択後、体重計から値を取り込むことができること	
4	2	3 車椅子、風袋等の値を加味して除水計算ができること	
4	2	4 取り込んだ体重の値の異常値を検出する仕組みがあること	
4	2	5 連続して体重を測定できる画面の作りになっていること	
4	3 記録確定	1 予定の条件と違う処置、薬剤を使用した時に正しく登録し、コストに反映すること	
4	3	2 過去記録の編集は、管理者権限を要求するなど制限を掛けること	
4	4 カルテ送信	1 確定した透析の実施データを、個別、一括でカルテに送信できること	
5 検査オーダー	1 検査スケジュールの作成	1 患者ごと、検査グループごとにスケジュールを作成できること	
5	1	2 日付、時間帯、透析前後、グループなどを基準に該当患者の検査オーダーを作成できること	
5	1	3 1のスケジュールを引用して、検査オーダー内容を作成できること	
5	1	4 同日の、前検査、後検査のオーダーを立てることができること	
5	1	5 検査内容は、個別検査も、セット検査もオーダーできること	
5	2 検査依頼表	1 検査オーダーの内容を検査依頼表として印刷できること	
5	3 検査シール	1 検査オーダーの内容を元に、スピッツ用に添付するシールを印刷できること	
5	4 カルテ送信	1 オーダー内容を、個別、一括でカルテに送信できること	
6 処方オーダー	1 処方オーダーデータ作成	1 患者ごとの処方オーダーデータを作成できること	
6	1	2 患者ごとの定期薬を管理でき、定期薬情報を引用して処方オーダーを作成できること	
6	1	3 定期処方、臨時処方のオーダーデータを作成できること	
6	1	4 処方箋を印刷できること	
6	2 処方データ管理	1 過去の処方箋を参照でき、再利用できること	
6	2	2 処方履歴を一覧できること	
6	3 カルテ送信	1 オーダー内容を、個別、一括でカルテに送信できること	
7 注射オーダー	1 定期注射	1 患者ごとに適用する注射を登録でき、都度の透析に反映できること	
7	1	2 1の条件は、透析パターンに従い、正確に適用できること	

大項目	中項目	小項目	回答
7	1	3 指示を変更すれば、次回の透析には反映すること	
7	2 臨時注射	1 透析中に急遽必要となった注射を登録できること	
7	3 カルテ送信	1 注射をカルテに送信し、コストを取ることができること	
8 検査結果	1 表示	1 患者の検査結果を時系列に参照できること	
8	1	2 表示項目の順を変更できること	
8	1	3 表示期間を変更でき、過去のデータも参照できること	
8	1	4 基準値外の値の場合、色がつくなど、注意を促すことができること	
8	2 印刷	1 検査結果表を印刷できること	
8	3 カルテから取込み	1 検査結果を一定間隔でカルテから取り込みできること	
8	4 KT/V等の計算	1 計算に必要な値がそろっていることを前提に、KT/V、nPCR、クレアチニン産生速度の計算ができること	
9 CTR登録	1 データ登録	1 CTRの値を日付、時間帯ごとなど一括で登録できること	
9	1	2 値と測定日を登録できること	
9	2 表示	1 入力したCTR値は、時系列に表やグラフで表示できること	
9	2	2 測定値のDWや、一部の検査値と一緒に確認できること	
10 医師所見	1 所見登録	1 医師所見を登録できること	
10	1	2 登録した所見は、自動的に透析システムの二号用紙などに転記され、全スタッフから参照できること	
10	2 カルテ送信	1 医師所見をカルテに送信できること	
11 マスター管理	1 入力支援	1 入力時にマスター登録された選択肢を表示し、容易に登録できること	
11	1	2 カナ順など選択肢の出現順を制御できること	
11	2 データ管理	1 マスターデータを新規追加、削除できること	
11	2	2 削除しても、過去データなどに影響を与えないこと	
11	2	3 有効な透析条件に設定されているマスターは削除できないように制限すること	
11	2	4 マスター項目（注射、薬剤、処置など）を適用している該当者を確認できること	
12 オーダ連携	1 予約情報	1 透析患者のベッドの予約状況の連携に関して、以下の機能を有すること	
12	1	2 ・部門システム側で入力された内容を電子カルテにデータ送信できること	
12	1	3 ・部門システム側でデータ送信後に予約状況を追加、変更、削除した際、電子カルテに再度データ送信を行い、部門システム側での最新の予約状況を電子カルテで表示できること	
12	2 注射オーダ	1 注射オーダ連携に関して、以下の機能を有すること	
12	2	2 ・部門システム側で入力された内容を電子カルテにオーダ送信できること	
12	2	3 ・定期注射について、実施予定日の前日11時までに部門システム側に入力されている内容は定期オーダとして電子カルテにオーダ送信できること	
12	2	4 ・実施予定日の前日11時を過ぎて部門システム側で入力された定期注射は、実施予定日当日に医師承認待ちとして一覧表示され、医師により承認の入力が行われたものは臨時オーダとして電子カルテにオーダ送信できること	
12	2	5 ・臨時で使用する注射が生じた場合は、部門システム側に当日入力されたものが臨時オーダとして電子カルテにオーダ送信できること	
12	3 検体検査オーダ	1 検体検査オーダ連携に関して、以下の機能を有すること	
12	3	2 ・部門システム側に入力された内容を電子カルテにオーダ送信できること	
12	3	3 ・部門システム側でオーダ送信後に入力内容を追加・変更・削除した場合、電子カルテに再度オーダ送信を行い、最新の入力内容を電子カルテに反映できること	
12	4 診療記録	1 診療記録(カルテ記事)連携に関して、以下の機能を有すること	
12	4	2 ・部門システム側で入力された内容を電子カルテにデータ送信できること	
12	4	3 ・部門システム側でデータ送信後に入力内容を追加・変更・削除した場合、電子カルテに再度データ送信を行い、最新の入力内容を電子カルテに反映できること	
13 部門照会	1 透析治療記録	1 電子カルテからの透析治療記録の照会操作に対して、以下の機能を有すること	
13	1	2 ・該当患者の最新の透析治療記録を表示できること	

大項目	中項目	小項目	回答
13	1	3 ・該当患者の透析治療記録が部門システム側に存在しない場合は、代替内容を表示できること	
14	1	1 透析システムから、透析日の体重を元に除水計算を行い、透析コンソールに除水指示を送信できること	
14	1	2 透析コンソールに値を要求し、バイタルデータ、装置モニターデータを、透析中継続的に取得できること	
14	2	1 共通プロトコルVer4 に対応できること	
14	2	2 前項 1 が可能な時、各コンソールに時刻設定を行うことができること	
15	1	1 既存の透析システムのデータを、新システムに移行できること	